

SS-024 日本における批判心理学の可能性：理論心理学，LGBT心理学， エスニックマイノリティの心理学，平和心理学の立場から

企画代表者，話題提供者：五十嵐靖博（山野美容芸術短期大学）

話題提供者：柘植 道子（一橋大学）

話題提供者：Htun Tin Tin#（テンブル大学日本キャンパス）

話題提供者：いとうたけひこ（和光大学）

指定討論者：尾見 康博（山梨大学）

第二次大戦後の心理学の歩みの中で，1990年代以降に欧米だけでなくラテンアメリカやアフリカ，アジアの研究者が集い批判心理学者が国際的に連携するようになったことは特記すべき歴史的発展と考えられる。この現代心理学運動は女性の立場からの心理学やポスト実証主義的心理学，ドイツ批判心理学，反人種差別の心理学，解放の心理学など1970年代以降に各国の固有の文脈において主流心理学が抱える問題を解決して新たな心理学を構築しようと努めてきた様々な「非主流心理学」が連携してネットワークを築いた結果，成立したものと見ることができる。

本シンポジウムでは日本で理論心理学やLGBT心理学，エスニックマイノリティの心理学，平和心理学に取り組む研究者がそれぞれのアプローチの意義を論じ，心理学に，より広く社会と一般の多くの人々に何をもたらし得るかを報告する。その後，指定討論を踏まえ，批判心理学の可能性を討議する。